



自動化社会*における 障害者の体

ゲスト キム・ウォニョン (作家)
進行 / 通訳 朴 炫貞 (北海道大学 CoSTEP 特任講師)

* 講演タイトルは当日変更になる可能性があります。

主催 北海道大学 CoSTEP

協力 北海道大学 ダイバーシティインクルージョン推進本部

普段は受講生限定で実施している CoSTEP の講義。
今回は特別に韓国からキム・ウォニョンさんをお招き
して公開講義として開催します。

キムさんは骨形成不全症により車椅子を使用します。
社会学を学び、弁護士として活躍していて、現在は主
にダンサーと作家として活動されています。

SF 作家のキム・チョヨプさんと自身の障害やテクノ
ロジーの現在、近未来の社会について縦横に語る注目
作『サイボーグになる：テクノロジーと障害、わたした
ちの不完全さについて』や、『希望ではなく欲望—
—閉じ込められていた世界を飛び出す』、『だれも私た
ちに「失格の烙印」を押すことはできない』などで、
ご自身の体験を辛辣な言葉で提示しています。また、
「愛と友情における差別禁止及び権利救済に関する法
律」、「人情闘争—芸術家編」、「Becoming-Dancer」
などの公演でパフォーマーとしてステージに上がりました。

さらに、障がいを持った人のダンスについて森田かず
よさんと行った対談や、岩波『世界』2024年2月
号で行った伊藤亜沙さんの対談「問いとしての障害」
など、障がい者として、ダンサーとして活躍していく
ことについての経験を語ってまいります。

今回の講義で、キムさんは人口減少と急激な自動化過
程を経て再構成される公共スペースに、障害を持つ
人々にどのようにアクセシビリティを拡大し、または
排除していると思うかに対して問いかけます。今まで
のキムさんの経験から考える視点を軸に、日本と韓国
の違いや共通点、障害と技術、芸術をめぐる話をつな
げ、これらの問いに答えていきます。

韓国から札幌に来たキムさんの生の声を、ぜひ会場で
聞いて話し合ってみましょう。

2024
12.18 水
18:30~20:00

紀伊國屋書店札幌本店
1F インナーガーデン

